

## 英国警察が、自警団からペドアイルを保護するよう命令される

新しい弾圧によって、警察は自警団のメンバーを逮捕するよう命令された

【訳者注】自警団は、警察が任務を果たさないから動き出したのだが、彼らの活動は違法だから、当然、取り締まりの対象になるだろう。このような悪循環になること、“ペドフィリア戦争”になることは予想できた。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/171227.pdf> もちろん悪の根源は、エドワード・ヒース首相やジミー・サヴィル(ともに故人)のような、ペドファイルの伝統をもつ英政府と英王室にある。この手の施しようのない混乱は、内乱の一手手前であり、これは「混乱からの秩序」Order out of Chaos と言われ、グローバリストが独裁制を固めるための、仕組まれた手順である。米フロリダ州などで起こっている、厳罰を伴って義務化されたワクチン接種——拒否すれば内乱しかない——などと、これは並行して起こっていると考えるべきである。

Daniel Newton, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

January 22, 2018



英国警察チーフは、対ペドフィリア自警団への大量弾圧を命令し、子ども捕食者たちが、幼い子どもたちを騙して犯行に及ぶのを、そのままにしておくよう命じた。

<http://www.theneonnettle.com/tags/pedophile>

この新しい弾圧は、警察官が、これらの自警団と協力することを禁ずるだけでなく、彼らを追及して、英国法の十分な合法性のもとに、逮捕するよう命じている。

警官たちは、ペドファイル自警団の犯す、ハラスメントや、プライバシー侵害や、暴力だけでなく、子どもに取り入って (groom して) いたと言われた者たちを、調査するように命令されている。



Scott Rivers 氏は、昨年、ペドファイルを捕まえるという彼の仕事を、中止するよう命令された

タイムズ紙によれば、昨年、内部手引き書が刑事たちに与えられ、自警団は、ペドファイルたちが虐待する子供たちに対して、“ほとんど考慮しない” から注意せよと、警官たちにと警告したという。

タイムズによれば、この内部手引き書が発行されたのは、自分たちが救い出したペドファイルの犠牲者に対する、安全保護の義務について、自警団は“ほとんど考慮しない” からだという。

ある自警団のメンバーは言った——「我々が存在する理由は、警官が自分たちの仕事をやらないからだ。ひとたび彼らが我々を連れ去ったら、これらの病的な、変態のペドファイルたちにとって、子供たちは基本的に、座り込んだあひるも同然だ。

「我々は、ペドファイルの子供たちへの犯罪を、助けたと言って逮捕されているが、それは馬鹿げている。警官はまるで、この者たちを保護しているかのようだ。」

長年、スコット・リヴァーズは、ペドファイルを捕まえるために、幼い女の子を装って、チャット・サイトに出ていた。彼は少なくとも、21人の性的捕食者を捕まえたと言っている。

The Mirror によれば、11月20日にリヴァーズ氏は、バットマンに扮して、エクセターのヘヴィトリー警察署を訪れ、ある子ども捕食者について彼が構成した証拠を手渡した。これがきっかけとなって、警察は、リヴァーズ氏に、公的な“行動停止命令”を手渡した。

[https://www.mirror.co.uk/news/uk-news/police-ordered-hunt-paedophile-hunters-11858909#ICID=sharebar\\_facebook](https://www.mirror.co.uk/news/uk-news/police-ordered-hunt-paedophile-hunters-11858909#ICID=sharebar_facebook)

行動停止命令とは、政府の機関や法廷から手渡され、ある人物または団体が、何かを直ちにやめるように指令する、公的命令のことである。

この弾圧は、自警団が、虐待者を法廷に突き出そうとする試みに続いて、一連の暴力事件があったのちに起こった。

David Baker、46歳は、10月、ペドファイル・ハンターに追及された4日後に、自殺した。

彼はハンプシャー警察に拘束中だった。彼の家族は、自警団は彼らの行動の及ぼす反響を、考えていなかったと言っている。

The Hunted One という名前のグループのメンバーたちが、イースターの日、ブルーウォーターのショッピング・センターで、ティーンエイジャーの女の子に、悪戯を仕掛けていたと主張する、一人の男性を取り囲み、暴力的な殴り合いになった。

ペドファイルの Mark Smith は、昨年、ペドファイル・ハンターによって、追及されたのち、スウィンドンで逮捕された。この虐待容疑者は、後に、子どもへの性的暴行で投獄され、自警団のうち2人は喧嘩を認めた。

2人の男が、今週、北ベルファストで、捕食者逮捕団に属する、3人の仮面の王党派軍団によって襲撃された。

何千とは言わないまでも、何百という人々が、ネット上で子供を装い、性的捕食者が引かかるのを捕えている。彼らの行動は、相当数の起訴へとつながっていったが、一方で、自警団というやり方と、容疑者・告発者双方の安全に関して、懸念が持ち上がっている。

警察官と違って、自警団グループは、守るべき、また自分の仕事を吟味すべき、厳しいガイドラインを持たない。

警官たちは、このグループと一緒に仕事をしたり、彼らの活動を決して保証したりしてはならないと命ぜられ、虐待者にネット上で対決したり、暴いたりすることは、「民衆を危険にさらし」、間違った人物を告発することもある、と警告されている。

国家警察主任会議の Simon Bailey 主任は、昨年、見解を述べ、このような行動によって、重要な資料が、容疑者の側に回る可能性があると言った。

子ども虐待調査の国家警察のリードをとるベイリーは、ガーディアン紙に対し、ペドファイル容疑者の身元を明かす、いわゆるペドファイル・ハンターは、「警察が調査をする前に、証拠を破壊してしまう機会」を、容疑者に与える可能性があると言っている。

——以上